日立電気温水器

スタンダードタイプ
スタンダードマイコンタイプ
取扱説明書

8時間通電型	8時間通電制御型 時間帯別電灯型
スタンダード	**スタンダードマイコン**
BE-S30E	BE-L30E
BE-S37E	BE-L37E
BE-S46E	BE-L46E
BE-S30EM	BE-L30EM
BE-S37EM	BE-L37EM

※形式末尾の記号

M：中高層集合住宅用

- このたびは日立電気温水器をお買い上げいただきありがとうございます。本品の機能を十分発揮させて効果的にご利用いただくため、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分理解してください。
- お読みになった後は、いつでも取出せるよう大切に保管してください。

もくじ

17A23361A

安全上のご注意　　必ずお守りください

※この給湯機は一般家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みの上、正しくお使いください。

■ ここに示した注意事項は

表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を、次の表示で区分し、説明しています。

危害や損害とその程度の区分	
	この表示の欄は、「誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「誤った取扱いをすると、人が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例	
	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。

据付け時の確認

⚠警告

確認

アース工事がされていることを確認する

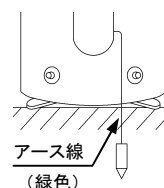
- アース工事がされていないと故障や漏電のときに感電することがあります。販売店または工事店にご確認ください。

⚠注意

確認

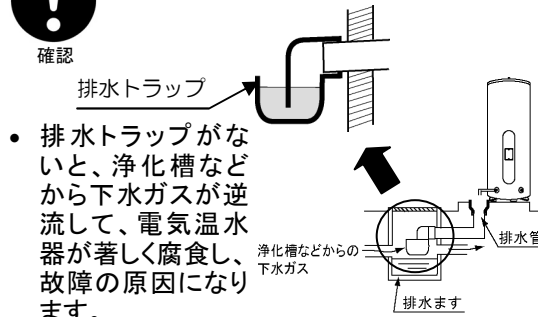
給水器具の仕様を確認する

単水栓

シングルレバー

サーモスタット付

- 給水器具は、必ず逆止弁付を使用してください。
- シャワー用は、必ずサーモスタット付混合水栓（逆止弁付）を使用してください。
- 給湯専用に単水栓は使用しないでください。タンクの熱い湯がそのまま出ますので非常に危険です。

確認

排水トラップを設置する

排水トラップ

- 排水トラップがないと、浄化槽などから下水ガスが逆流して、電気温水器が著しく腐食し、故障の原因になります。

浄化槽などからの下水ガス

排水管

排水ます

確認

脚（３か所）がアンカーボルトで固定されているか確認する

- 固定されていないと、地震などにより本体が倒れてけがをすることがあります。
- 電気温水器を 2 階以上に据付けた場合は、本体上部も固定されているか確認してください。

確認

水道水を使用する

- 必ず、水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 井戸水、温泉水、純水、イオン交換水は使用しないでください。タンクや配管の腐食の原因になります。

禁止

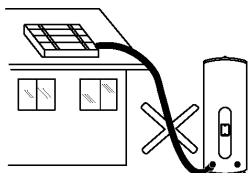
太陽熱温水器のお湯が給水管に接続されていないか確認する

- 太陽熱温水器との接続はできません。故障の原因になります。

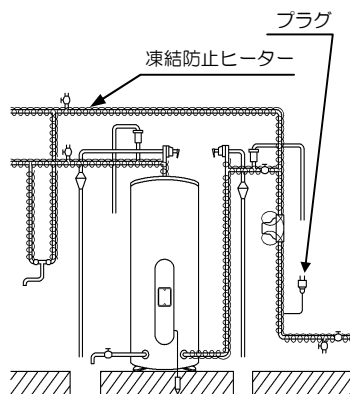
禁止

防水処理・排水処理がされていることを確認する

- 処理されていないと、水漏れが起きたときに、階下や隣家に大きな損害をおよぼすことがあります。販売店または工事店にご確認ください。

確認

配管の凍結防止対策の確認をする

P10

プラグ
凍結防止ヒーター

- 凍結すると、タンクや配管が破裂し、やけどや水もれをすることがあります。

安全にお使いいただくために　　必ずお守りください

⚠警告

異常(こげ臭いなど)時は、漏電遮断器の電源スイッチを「切」にし、販売店に連絡する

- 異常のまま使用すると、故障や感電、火災の原因になります。

やけど注意

浴そうの湯温を指先等で確かめてから入浴する

やけど注意

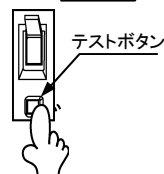
シャワーや台所・洗面所でお湯を使う時は、湯温を指先などで確認する

- 湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。
- シャワー給湯には、必ずサーモスタット付混合水栓をご使用ください。

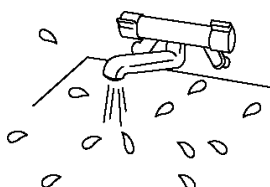
動作確認

漏電遮断器の動作を確認する

P11

- 月に一度、動作を確認してください。
- 故障のまま使用すると、感電することがあります。

やけど注意

お湯の使いはじめに注意する

- 朝の使いはじめは、空気の混ざったお湯が飛び散ることがあります。

やけど注意

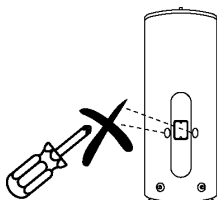
給湯時は混合水栓のハンドル以外に手を触れない。

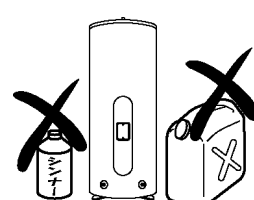
- 高温の湯の使用時および使用直後は、混合水栓が熱くなっています。
やけどにご注意ください。

分解禁止

前面カバーを開けない

- 開けると、感電することがあります。

禁止

機器の近くにガス類や引火物を置かない

- 発火や火災になることがあります。

やけど注意

タンクの排水時は、お湯に手を触れない P9

- 熱湯が出てやけどをすることがあります。

分解禁止

分解・修理・改造を行わない

- 感電、発火、異常動作の原因になります。

必ずお守りください

⚠注意

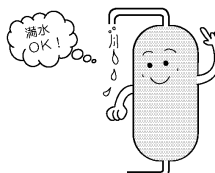
電源確認

1か月以上使用しないときは、漏電遮断器の電源スイッチを「切」にし、タンクの排水をする P9

- 排水しないと水質が変化することがあります。
- 排水しないとタンクや配管が凍結し、故障の原因になることがあります。

満水確認

機器を満水にしてから電源を入れる P7

- 機器に水がない状態で電源を入れると、故障の原因になります。
- 初めてお使いの場合は、販売店にご確認ください。

積雪時には除雪をする

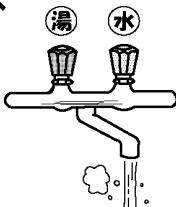
- 電気温水器の周囲に積雪すると、誤作動や故障の原因になります。

断水時は、電気温水器専用止水栓を閉める P12

- 閉めないと、再度送水されたときににごった水がタンク内に入るおそれがあります。

やけど注意

混合水栓は水から開く

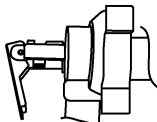
- まず水栓を開いてから、湯栓を徐々に開いて適温にしてください。湯栓だけを開くと熱湯が出る場合があり非常に危険です。

冬期、電源スイッチを「切」にする場合は、タンクと配管の水抜きをする P9

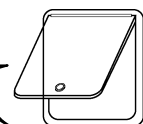
- タンクが満水のまま電源スイッチを「切」にすると、配管が凍結し、水漏れや故障の原因になります。

点検

逃し弁の点検をする P12

※逃し弁のレバーを上げて排水管からお湯が出れば正常です。

- 異常のまま使い続けるとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。

操作カバーは閉じる P 7

- 開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

禁止

そのまま飲用しない

長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず沸騰させてください。

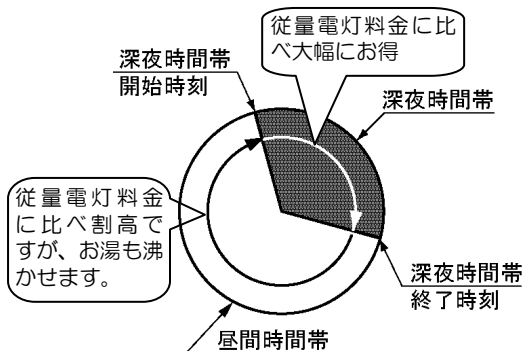
- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている水）は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、販売店へ点検を依頼してください。

■ 電力契約について

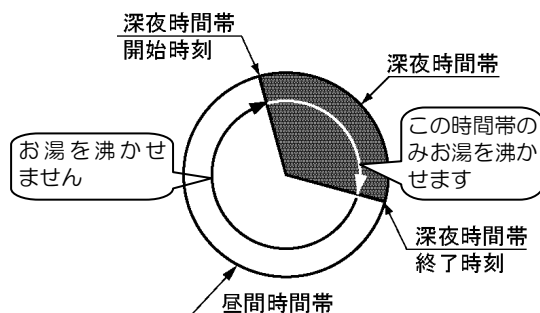
本製品のご使用にあたって、あらかじめ電力会社と時間帯別電灯契約または深夜電力契約を結んでください。契約方法、内容については各電力会社にお問い合わせください。

時間帯別電灯契約

・適用機種：スタンダードマイコンタイプ

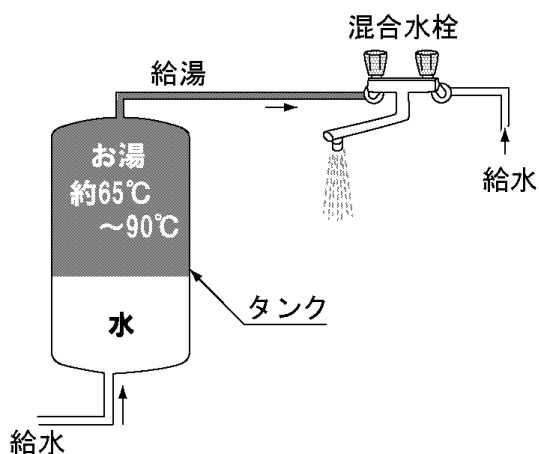
従量電灯料金に比べ大幅にお得
深夜時間帯開始時刻
深夜時間帯
従量電灯料金に比べ割高ですが、お湯も沸かせます。
深夜時間帯終了時刻
昼間時間帯

ご家庭で使用するすべての電力を上図のように２つの時間帯に分けて電力料金を算出します。昼間時間帯にもお湯を沸かすことができるので、たくさんお湯を使用されるご家庭でも安心してお湯を使用できます。また、食洗機や洗濯機などの家電機器を割安な深夜時間帯に利用するとさらに経済的です。

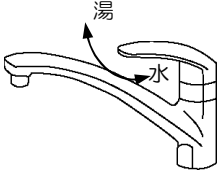
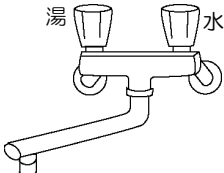
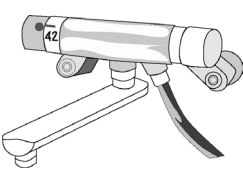
深夜電力契約＋従量電灯契約

・適用機種：スタンダードタイプ
スタンダードマイコンタイプ

深夜時間帯のみ、お湯を沸かします。お湯を沸かすための電気代は、深夜電力を利用するのでたいへんお得になります。家電機器使用の電気代は、深夜時間帯/昼間時間帯にかかわらず従量電灯料金が適用されます。

電気温水器について

■電気温水器の仕組み

電気温水器は、タンクに貯えた水を電気代のお得な深夜電力を利用して沸き上げ、台所や洗面所、おふろなどでお湯が使えるようにする機器です。お湯は、タンク内に内蔵した電気ヒーターで沸き上げます。

1 混合水栓を開いてお湯を使うと、使った分だけ自動的にタンクの下から給水します。朝はお湯で一杯だったタンクは、お湯を使うたびに水の部分が増えていきます。

2 お湯として使える量は、給湯に使うほか、放熱などにより徐々に少なくなってきます。

3 タンクのお湯は、そのままでは熱いので水と混ぜて使います。ですから実際に使えるお湯の量は、およその目安としてタンク容量の２倍くらいになります。
（沸き上げの温度や水道水の温度によって実際に使える湯量は異なります）

混合水栓(蛇口)について

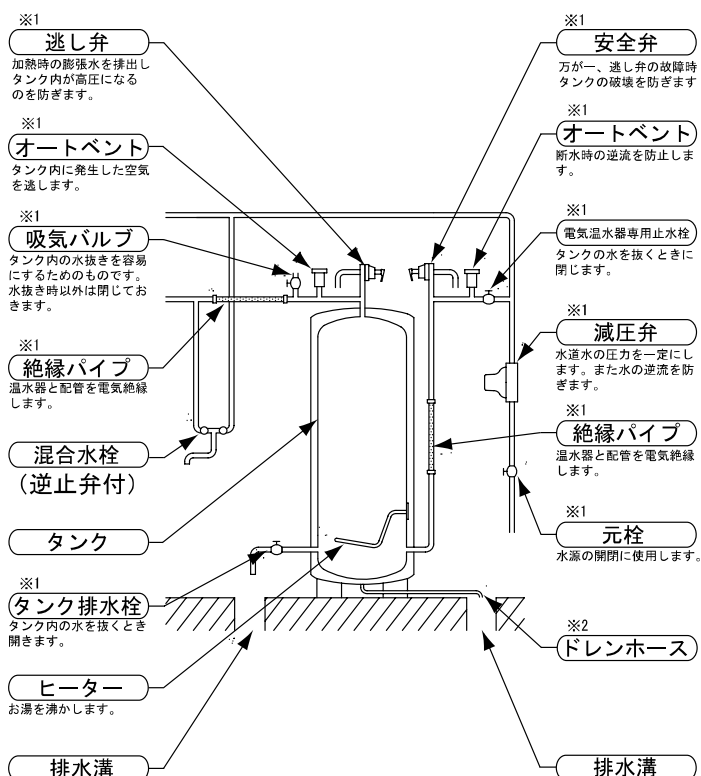
■ 混合水栓(蛇口)の種類

●機器を安全、便利にご使用いただくためには、各給湯個所に取り付ける混合水栓（蛇口）も大切な役割があります。ご家庭で一般的にお使いになる混合水栓には下表のような種類があります。特徴をよく理解し安全に使用してください。

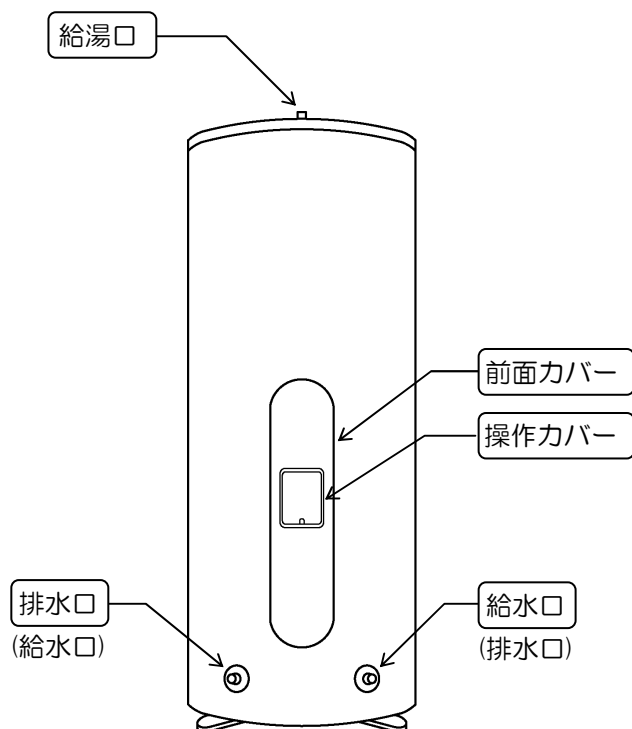
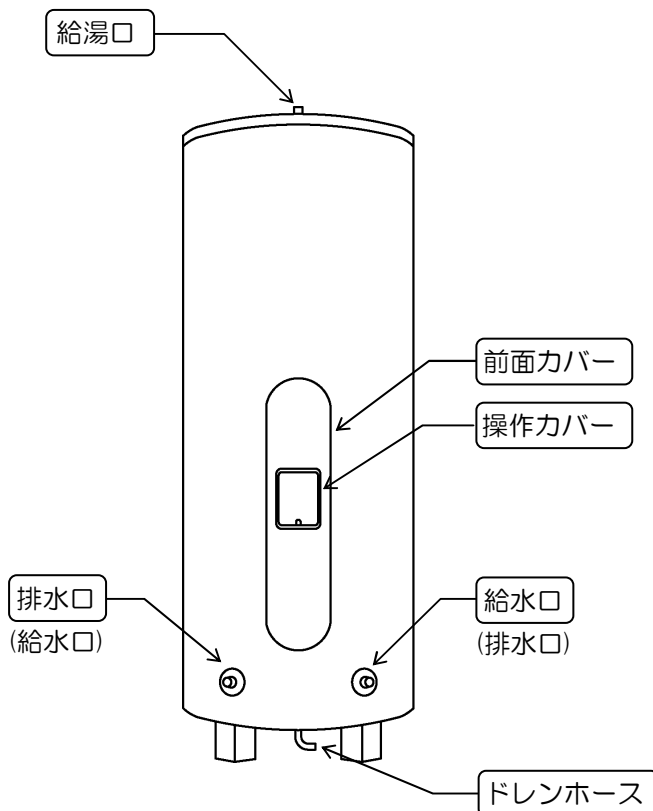
	シングルレバー	ツーハンドル	サーモスタット付
外　観	湯 水	湯 水	
概　要	レバーを左右に操作して温度調節を、レバーを上下に操作して湯量の調節を行います。	お湯側、水側それぞれのハンドルを操作してお湯の温度や湯量を調節します。	混合水栓部で温度の設定ができます。シングルレバー、ツーハンドルに比べ温度の変化が少なくなります。

●シングルレバーの混合水栓は、出湯、停止、温度や湯量の調節が簡単にできるので台所やシャンプー機能のない洗面所に向いています。

●サーモスタット付混合水栓は、おふろやシャンプー機能付の洗面台で使用されています。サーモスタット付混合水栓は、出湯温度が安定しやすく、より安全にお湯をご使用いただけます。シャワーはお湯を直接、からだや頭にかけますので、誤って熱い湯が出ると大変危険です。サーモスタット付混合水栓のご使用をおすすめします。

配管システム(標準配管例)

※1　現地準備品(製品には付属していません)

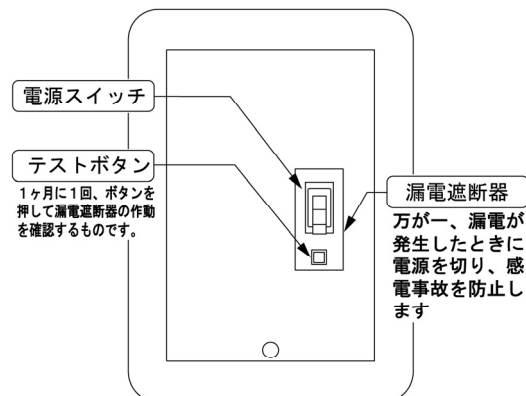
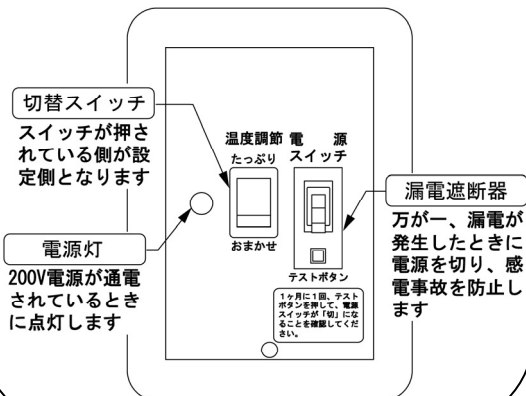
※2　中高層集合住宅用のみ付属しています。

各部のなまえ（本体）

戸建住宅用：屋外・屋内兼用タイプ

中高層集合住宅用

付属品

●保証書×1　●工事説明書×1
●取扱説明書×1　●配管固定金具×1
●アンカーボルト施工型紙×1

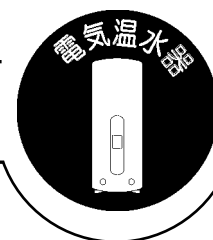
操作カバー内部

●スタンダードタイプ

●スタンダードマイコンタイプ

ご注意

●スタンダードマイコンタイプについて

・本製品は別売リモコンの接続が可能です。
別売リモコン（BER-3A）を接続して使用する場合の操作は、主にリモコンで行います。（詳しくは別売リモコンの取扱説明書をお読みください）

・この場合、本体側操作部では「電源スイッチ」と「テストボタン」のみが操作でき、その他の操作はできませんのでご注意ください。

電気温水器使用準備

1 タンクを満水にする

P8 の図を参考に、下記順序で給水を行ってください。

① すべての混合水栓が閉じていることを確認する。

② 電気温水器のタンク排水栓、吸気バルブを閉じる。

③ 逃し弁を開ける。

④ 水道の元栓と電気温水器専用止水栓を開いてタンクに水を入れる。タンクが満水になると、逃し弁から水が出ます。満水までの所要時間は約20～30分です。

⑤ 満水になったら逃し弁を閉じる。

⑥ 水道の元栓、電気温水器専用止水栓は開いておく。

吸気バルブは確実に閉じる

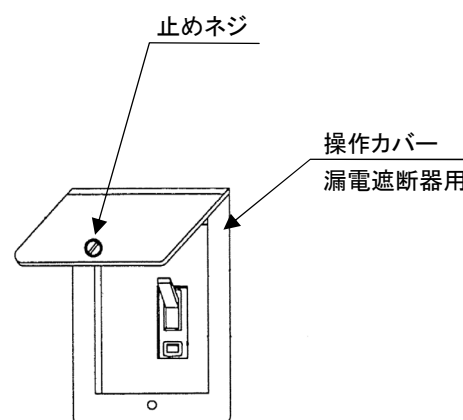
・給水時に吸気バルブが開いていると、吸気バルブから水が漏れ故障の原因となります。

2 電源を入れる

① 200V の元電源ブレーカを「入」にする。

② 止めネジを回して、操作カバーを開く。

③ 電源スイッチを「入」にする。

④ タイムスイッチにより夜になりますと電気が入り、翌朝には、お湯が沸いています。

※（1）８時間通電型の場合　（スタンダードタイプ・スタンダードマイコンタイプ）
昼間の沸き増しはできません。

（2）時間帯別電灯型の場合（スタンダードマイコンタイプ）
別売のリモコン（BER-3A）を使用することで昼間の沸き増しが可能です。

膨張水について

・通電中に逃し弁よりお湯が出ますが、これは故障ではありません。水から湯になるときの膨張水を逃すためで、正常です。

必ずタンクを満水にしてから通電する

・電源スイッチ は、タンクが満水になるまで「入」にしないでください。

・タンクに水がない状態で通電すると、ヒーターが過熱して故障の原因になります。

操作カバーは操作完了後必ず閉じておく

・操作カバーの取付が不十分ですと、雨水などの浸入により、感電や機器が故障するおそれがあります。

3 お湯を使う

混合水栓（湯側）を開くとタンクのお湯（高温）が出てきますので、必ず混合水栓（水側）を先に開いて、適温に調節してからお使いください。

温度調節の方法

※本機能はスタンダードマイコンタイプの機能です。
　スタンダードタイプに本機能はありません。
　対応機種については右表の形式を参照ください。

ご注意

●別売リモコン（BER-3A）を接続して使用する場合、本体側では操作できません。この場合リモコン側で操作しますのでご注意ください。
詳しくは、リモコンの取扱説明書をお読みください。

対応機種一覧

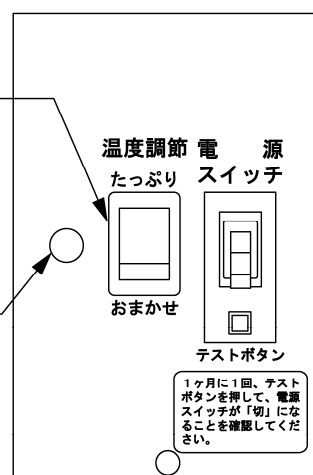
対応機種
BE－L30E
BE－L37E
BE－L46E
BE－L30EM
BE－L37EM

1　沸き上げ温度の調節

沸き上げ湯温は２種類の設定ができます。

■たっぷり
　約 90℃に沸き上げます。

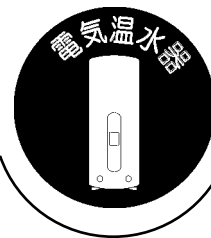
■おまかせ（自動温度設定）
　過去の使用湯量から翌日の使用湯量を予測し、約 65℃～90℃に沸き上げます。

※初めてお使いになるときは、「たっぷり」に設定されています。

■　上手な使い方

・来客などで使用湯量が急増する場合や熱いお湯が必要なときなどは、前日に切替スイッチを「たっぷり」に設定しておいてください。

ご注意

●「おまかせ」に設定した場合、過去のお湯の使用量が少ないと翌日の沸き上げ温度が低くなります。
●設定した湯温は、沸き上げ直後のタンク内の温度で、時間の経過とともに少しずつ低下します。
　また混合水栓から出るお湯は配管の放熱によって、設定温度より低くなります。
●厳寒期や残湯量が少なく給水温度が低い（15℃以下）のときは、90℃まで沸き上がらない場合があります

長期間使用しないとき

タンクの排水のしかた

１か月以上、電気温水器を使用しないときは、運転を止めタンクの水を抜きます。
なお、凍結のおそれがある場合は、お買い上げの販売店、工事店に依頼をして完全な水抜きを行ってください。本ページの水抜きでは配管に水が残り、凍結を防止できません。

1　台所などの混合水栓を開く

・ぬるい水が出てくるまで開いておきます。
　タンク排水時に熱湯が排水されることを防止します。

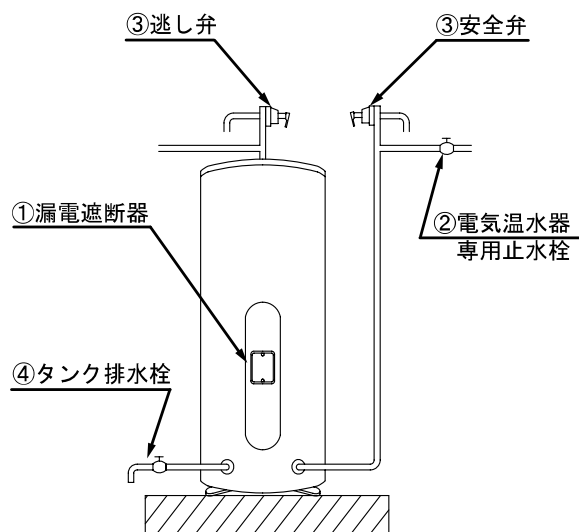
2　タンクのお湯を排水する

③　漏電遮断器の電源スイッチを「切」にする。

①　電気温水器専用止水栓を閉じる。
　・タンクへの給水を止めます。

②　逃し弁・安全弁のレバーを上げる。

④　タンク排水栓を開く。
　・タンクの水を排水します。排水口から水があふれないように排水栓の開き具合を調整してください。

※排水は約 30 分～1 時間かかります。

3　タンク排水栓を閉じる

・排水栓から水が出なくなったら、排水栓を閉じてください。

お願い

・水抜き終了後、「タンク排水栓」が閉まっていることを確認してください。

4　逃し弁・安全弁のレバーを下げる

・タンク内温度が常温に戻ってから逃し弁・安全弁のレバーを下げてください。

※タンク内の温度が高い状態で逃し弁・安全弁のレバーを下げた場合、負圧によりタンクが破損するおそれがあります。

⚠ 注意

タンク破損のおそれあり

・必ずタンク内温度が常温に戻ってから逃し弁・安全弁のレバーを下げてください。

⚠ 警告

やけど注意

タンクの排水時は、お湯に手を触れない

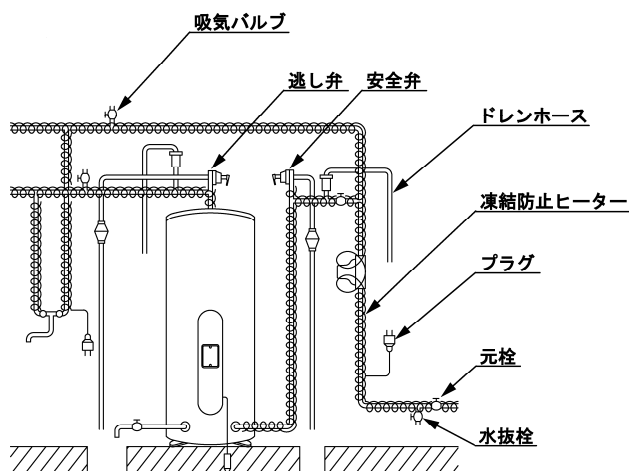
・熱湯が出てやけどをすることがあります。

再び使用するとき

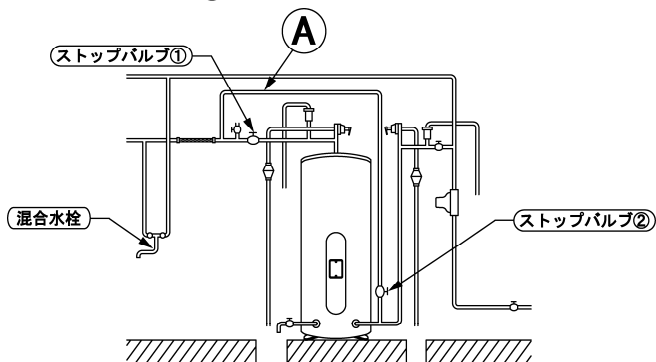
- 再び使用するときは「電気温水器使用準備」P7 の手順を行ってください。

凍結防止について

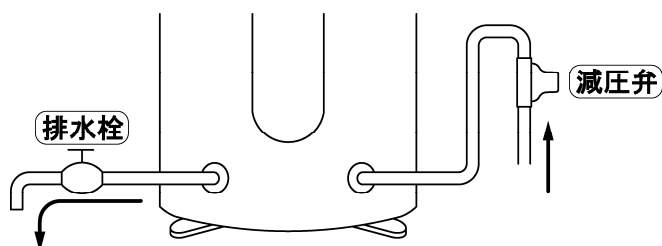
各配管に保温工事がしてあっても、電気温水器周囲温度が 0℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損することがあります。
寒冷地だけでなく、暖かい地域でも凍結することがありますので、据付工事店へ相談して適切な凍結防止対策を行ってください。
凍結が予想される日は、下記処置を行ってください。

1 凍結防止ヒーターを使う

① 凍結防止ヒータが、左図のように巻かれていることを確認します。
② 凍結が予想される季節になったら、すべてのプラグをコンセントに差し込みます。
③ 凍結しない季節になったら、プラグをコンセントから抜いてください。

2 少量水を流し続ける(A)

各混合水栓を開け、わずかに水が出るように調節します。
この場合下図Ⓐの配管が必要です。

① ストップバルブ①を閉じ、次にストップバルブ②を開きます。
（お湯を使うときはストップバルブ①を開きストップバルブ②を閉じます）
② 各混合水栓を少しだけ開いて少しずつ流し続けます。

3 少量水を流し続ける(B)

排水栓から少量の水を流し続けます。

○ 翌日お湯を使用するとき
電気温水器の排水栓を少し開き、少量の水を流し続けてください。
○ 翌日お湯を使用しないとき
電気温水器の電源スイッチを「切（OFF)」にし、各混合水栓から少量の水を流し続けてください。

ご注意
この方法では給湯配管は凍結防止できません。また電気温水器の沸き上げ湯温が少し低くなります。

日常のお手入れと点検

長く、安全にご使用いただくためお手入れと点検を行ってください。

1 日常のお手入れ

■ 電気温水器表面のお手入れ

汚れは乾いた布でふくか、布に台所用洗剤をうすめてふくませ軽く絞ってふいてください。
洗剤使用後は、布をよく水洗いし固く絞って洗剤をふきとってください。
シンナーなどの溶剤は、塗装面をいためますので使用しないでください。

2 月に 1 度のお手入れと点検

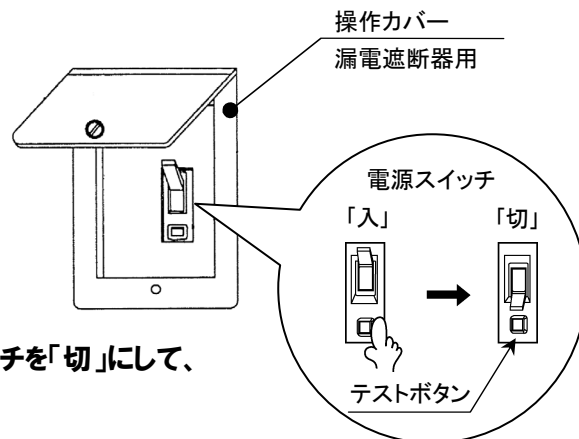
■ 漏電遮断器の点検

漏電遮断器は、万一漏電したとき自動的に電気を切るための安全装置です。
漏電遮断器用操作カバー内に漏電遮断器がありますので、深夜時間帯に動作確認をしてください。

⚠ 警告

漏電遮断器の動作確認をする。
故障のまま使用すると感電することがあります。

①テストボタンを押す。
　電源スイッチが「入」→「切」になれば正常です。
②電源スイッチを「入」に戻します。

テストボタンを押しても「切」にならない場合は、電源スイッチを「切」にして、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■ 配管の点検

電気温水器の周囲が漏れていないか、保温材が傷んでいないか点検してください。
特に集合住宅（マンション）では、水が漏れると階下に被害を与えます。ドレンホースから水が出ていないことを確認してください。

■ タンクのそうじ

使用中、タンク底部に湯あかなどの沈でん物がたまります。
タンクの湯を排水することにより、タンク内の沈でん物を除去します。
タンクのそうじは、沸き上げ時に行わないでください。

①電気温水器専用止水栓を閉め、逃し弁のレバーを上げます。
②排水栓を開けて約２分間排水してください。
③排水栓を閉じ、電気温水器専用止水栓を開けます。
④タンク排水管から湯（逃し弁からの湯）がでてきたら、逃し弁のレバーを下げます。
⑤タンク排水管から湯が出ないことを確認してください。湯が止まらない場合は逃し弁のレバーを 2～3 度上げ下げしてください。

⚠ 警告

タンクの排水時は、お湯に手を触れない

・熱湯が出てやけどをすることがあります。

■ 逃し弁の点検

逃し弁は沸き上げ時、膨張水を排出しタンク内が高圧になるのを防ぎます。**逃し弁の点検は、沸き上げ時に行わないでください。**

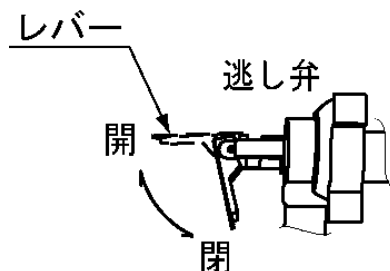
警告

逃し弁点検時は、配管に手を触れない。手を触れるとやけどをすることがあります。

逃し弁は高い位置にありますので、踏み台などを使用して点検してください。点検時は、転倒しないように注意してください。

①タンク排水管からお湯(水)が出ていないことを確認する。
②逃し弁のレバーを上げて、タンク排水管からお湯(水)が出ることを確認する。
③逃し弁のレバーを下げてお湯(水)が止まることを確認する。お湯(水)が止まらないときは、レバーを２～３度上げ下げしてください。

レバーを上げたときにタンク排水管から、お湯(水)が出ない場合や、レバーが下がっているのにお湯(水)がでる場合は、弁類の故障が考えられます。
電源スイッチを「切」にしてお買い上げの販売店にご連絡ください。

・点検後は、必ず逃し弁のレバーを下げてください。

■定期点検契約(有料)のおすすめ

電気温水器を長期間安心してお使いいただくために、3～4 年に 1 度、専門技術者による定期点検（有料）を行ってください。
なお、給水用具(逆流防止装置)に関しては（社）日本水道協会発行の「給水用具の維持管理指針」に示されている定期点検の実施をおすすめします。時期は 3～4 年に 1 回程度をおすすめします。
定期点検につきましては、お買い上げの販売店または当社サービスエンジニアリングセンタへご相談ください。点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

定期点検の主な項目

項　目	内　容
据付状態の点検	・設置状態の点検・配管接続部の水漏れ点検 ・配管、その他の保温状態の点検 ・電気絶縁の点検
機能部品の点検	・電気部品（配線、導通、動作の確認）の点検 ・弁類（減圧弁、逃し弁）の点検
清掃	・タンク内の清掃（沈殿物の除去など） ・減圧弁ストレーナの清掃

＜消耗部品（有料）について＞
逃し弁、減圧弁、パッキン類、ゴムホース、ヒーター、センサー類、オートベントは、消耗部品です。上記部品の交換時は、当社純正部品と交換ください。

断水のとき

断水や近くで水道工事が行われるときは、電気温水器専用止水栓と全ての混合水栓を閉じてください。
（お湯は使えません）電気温水器専用止水栓を閉じないと、タンクや配管内ににごった水が入ったり、逆流して電気温水器が故障する場合があります。また、電気温水器専用止水栓や混合水栓などが開いていると、再度送水されたときに混合水栓から湯(水)が出てしまいます。
断水終了後は、混合水栓の水側のみを開き、水の汚れがなくなるまで水を出してから、電気温水器専用止水栓を開いてください。

故障かなと思ったら

こんなときは調べてみましょう

症　　状	原　　因	処　　置
お湯が出ない お湯の出が悪い	電気温水器専用止水栓が閉じている	電気温水器専用止水栓を開いてください。
	断水している／給水圧が低い	断水が終わるのを待ってください。
	配管が凍結している	お買い上げの販売店へご連絡ください。
お湯がぬるい お湯が足りない ※別売リモコン BER-3A 使用時	深夜時間帯にお湯をたくさん使用した	沸き増しをしてください。 深夜時間帯に大量のお湯を使うと、翌朝、充分に沸き上がらないことがあります。
	いつもに比べてお湯をたくさん使用した	沸き増しをしてください。 お湯をたくさん使う予定があるときは、前日に沸き上げ設定を「たっぷり」に設定してください。
タンク排水管から水が出ている	沸き上げ中に膨張水の排出を行っている	沸き上げ中は、タンク内の水の膨張水を排水します。通常一晩で 10L～20L 排水するのが正常です。
	逃し弁など弁類の故障です	逃し弁の点検を行なってください。

こんなときは故障ではありません

■ 浴そうのお湯が青く見える

光の波長や、浴そうの色によって浴そうのお湯が青く見えることがあります。また、配管(銅配管)から溶出したわずかな銅イオンが、石けん成分と反応して浴そうのふちや、洗面用具などが青くなることがありますが異常ではありません。

■ 夜間時間帯になっても、沸き上げを行わない
※スタンダードマイコンタイプをご使用の場合

給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐに沸き上げを行いません。深夜時間帯が終了する時刻に合わせて沸き上げを完了させます。（ピークシフト機能）

■ お湯が白く濁って見える

水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間をおくと消えます。

■ お湯から油が出る、お湯が臭い

お買い上げ直後は、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。

仕様

■ スタンダードタイプ

		仕		様		
形式名		BE-S30E	BE-S37E	BE-S46E	BE-S30EM	BE-S37EM
適用電力制度		8時間通電型				
用途		戸建住宅用			中高層集合住宅用	
設置場所		屋外・屋内兼用タイプ			屋内タイプ	
外形寸法	高さ	1362mm	1619mm	1949mm	1427mm	1684mm
	幅	684mm				
	奥行	760mm				
電源		単相 200V, 50/60Hz				
消費電力		3.4kW	4.4kW	5.4kW	3.4kW	4.4kW
タンク容量		300L	370L	460L	300L	370L
沸き上げ温度		約85℃				
質量	製品	43 kg	49 kg	55 kg	45 kg	51 kg
	満水時	343 kg	419 kg	515 kg	345 kg	421 kg

■ スタンダードマイコンタイプ

		仕		様		
形式名		BE-L30E	BE-L37E	BE-L46E	BE-L30EM	BE-L37EM
適用電力制度		8時間通電制御型/時間帯別電灯型				
用途		戸建住宅用			中高層集合住宅用	
設置場所		屋外・屋内兼用タイプ			屋内タイプ	
外形寸法	高さ	1362mm	1619mm	1949mm	1427mm	1684mm
	幅	684mm				
	奥行	760mm				
電源		単相 200V, 50/60Hz				
消費電力		3.4kW	4.4kW	5.4kW	3.4kW	4.4kW
タンク容量		300L	370L	460L	300L	370L
沸き上げ温度		約65℃～90℃				
質量	製品	43 kg	49 kg	55 kg	45 kg	51 kg
	満水時	343 kg	419 kg	515 kg	345 kg	421 kg

●本製品は、別売のリモコン（BER-3A）を接続して使用することができます。

愛情点検	長年ご使用の電気給湯機の点検を！			
	こんな症状はありませんか？	・本体設置場所がいつもぬれている ・時々漏電遮断器が『切』になる ・お湯が早くなくなる その他の異常や故障がある	▶ ご使用中止	故障や事故防止のため、電源ブレーカーを切り、電気温水器専用止水栓を閉じてから、販売店に点検をご相談ください。

保証とアフターサービス

■ 保証書（添付）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日、据付工事店名（販売店名）」などの記入をお確かめのうえ、据付工事店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。（取扱説明書、工事説明書を保証書と一緒に保管してください。）
- 保証期間は、お買い上げいただいた日から１年です。(タンクは５年です)

■ 補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は製造打切後１０年です。

※補修用性能部品とは、その製品を維持するために必要な部品です。

■ 不明点や修理に関するご相談は

お買い上げ販売店または修理コールセンタにご連絡ください。

■ 修理を依頼されるときは

●販売店または修理コールセンタへ下記を連絡ください。

1.形式名（保証書に記載）
2.故障の状況
3.お名前、ご住所（付近の目印なども）、電話番号
4.販売店名

●修理料金

保証期間中：保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間がすぎている場合：修理によって使用できる場合は、お客様のご希望により有料修理いたします。

ご購入年月日	年　　月　　日
販売店	
	電話番号

■ 修理コールセンタ

(0120) 649-020（携帯電話からも可）

受付時間/365 日・24 時間受付

■ 技術相談センタ

(0120) 578-011（携帯電話からも可）

受付時間/9：00～17:00(土日祭日を除く)

■ サービスエンジニアリングセンタ

受付時間/9：00～17:00(土日祭日を除く)

北海道　(011) 717-5146
〒060-0809
札幌市北区北 9 条西 3-10-1（小田ビル8階）

東京　(03) 3649-3811
〒135-0016
東京都江東区東陽 5-29-17（住友不動産東陽ビル）

東北　(022) 225-5972
〒980-0065
仙台市青葉区土樋 1-1-11

北陸　(076) 429-6861
〒939-8214
富山市黒崎 627-3

中部　(0568) 72-0131
〒485-0072
小牧市元町 4-66

関西　(06) 6303-6159
〒532-0022
大阪市淀川区野中南 2-11-27

中国　(082) 283-9374
〒735-0029
広島県安芸郡府中町茂陰 1-9-20

四国　(087) 833-8701
〒760-0072
高松市花園町 1-1-5（花園ビル）

九州　(092) 561-4854
〒815-0031
福岡市南区清水 4-9-17

※所在地・電話番号などは、予告無く変更することがありますのでご了承ください。

・お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。

・ご相談、ご依頼いただいた内容によっては、弊社のグループ会社に個人情報を提供し、対応させていただくことがあります。

日立アプライアンス株式会社

〒105－8410　東京都港区西新橋2－15－12